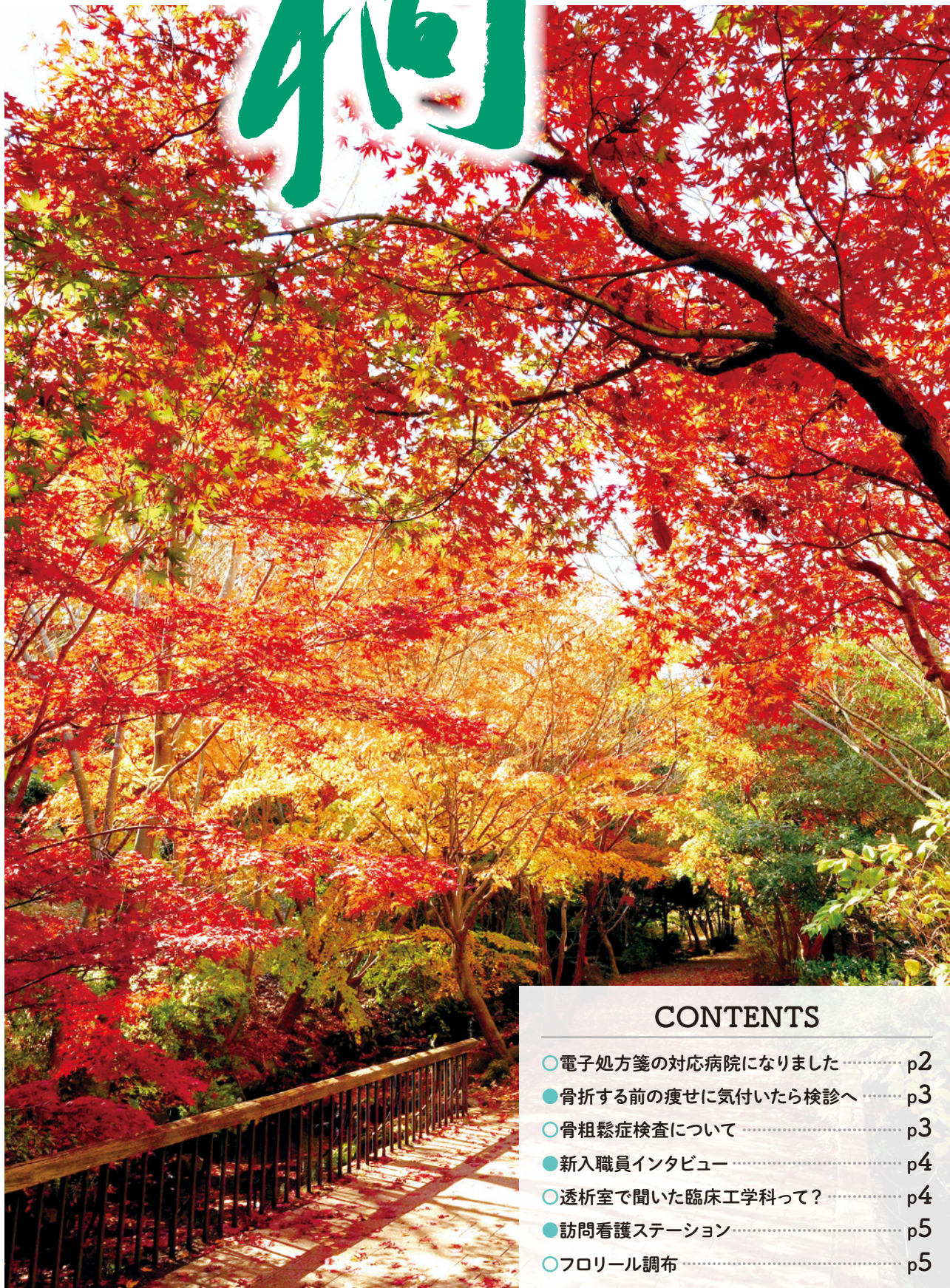




桐



CONTENTS

- 電子処方箋の対応病院になりました…………… p2
- 骨折する前の痩せに気付いたら検診へ…………… p3
- 骨粗鬆症検査について…………… p3
- 新入職員インタビュー…………… p4
- 透析室で聞いた臨床工学科って?…………… p4
- 訪問看護ステーション…………… p5
- フロリアル調布…………… p5

ご案内します！



【電子処方箋】の対応病院になりました

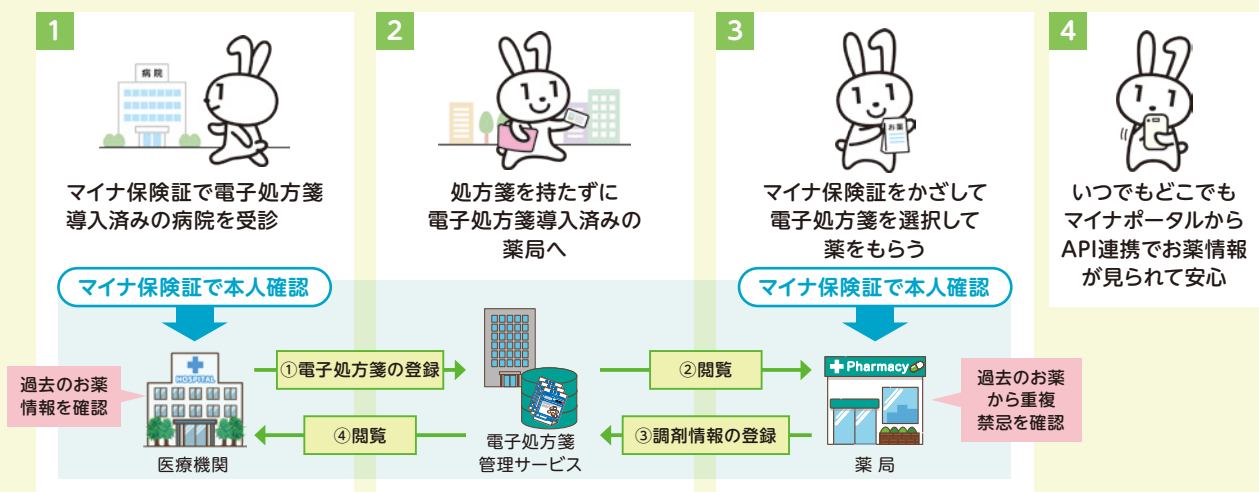
電子処方箋とは紙の処方箋を受け取ることなく、薬局に行ってお薬を受け取ることを目的にしたシステムで、マイナンバーカード、紙の保険証、どちらでも「電子処方箋希望!」と医者に伝えるだけでご利用できます（生保を含む医療保険適用の院外処方箋のみ対象で、自費や労災、自賠責等の診察時発行は対象外です）。

現在はマイナポータル保険証が普及するまで、紙の処方内容（控え）が医療機関から渡されます。診察室で（処方箋か、紙の処方控えか）もらう紙が違います。

薬局では、医療機関が「電子処方箋管理サービス」に提供した電子処方箋を、患者さんのマイナンバーカード等で特定し、調剤を行います。利用する薬局が電子処方箋に対応している必要がありますので、注意が必要です。

「電子処方箋管理サービス」に送られたお薬の情報は蓄積され（閲覧可能期限は3年）医療機関・薬局の医師や薬剤師が、それらのデータを治療や調剤に活用することで、正確なデータに基づいた、より確実な治療や調剤につなげることができ、処方箋が手元になくともマイナポータルにログインすると、処方内容を確認することができます。

マイナンバー保険証での流れ



1 医療機関の受付でマイナンバーカード（マイナ保険証）を読み取り機（端末）にかざします。

- 過去のお薬情報の提供等の同意について選択します（医療従事者が閲覧するには、患者さんの同意が必要です）。診察時医師に「電子処方箋を希望します」と伝えます。

※紙の保険証でも電子処方箋を発行できます。

- 診察が終わっても処方箋は発行されません（当面の間、紙の【処方内容（控え）】が渡されますが、処方内容はマイナポータルでも確認できますので、不要な場合は医療機関にお申し出ください）。

2 処方箋を持たずに薬局へ行きます。

- かかりつけの薬局等に、事前に引換番号（処方内容（控え）に記載されている番号を（マイナポータルからも確認できます）電話・画像送付・アプリで伝えるとスムーズにお薬を受け取ることができます。

- 電子処方箋であっても、処方箋の有効期限は原則4日間です。処方された日を含めて4日以内に薬局に行きましょう。

3 薬局の受付でマイナンバーカード（マイナ保険証）を読み取り機（端末）にかざします。

- 過去のお薬情報の提供等の同意について選択します（医療従事者が閲覧するには、患者さんの同意が必要です）。
- 端末画面で電子処方箋希望を押します。
- 薬剤師から服薬指導を受け、お薬をもらいます。

4 処方内容や過去のお薬情報は、マイナポータルから確認することができます。

- 旅行先での急な受診でお医者さんにお薬情報を伝える必要がある場合や、ドラッグストアでの薬の飲み合わせの確認に利用できます。

紙の保険証でも電子処方箋を利用することは可能ですが、紙の処方控え記載の引換番号が必要です。電話であらかじめ薬局に引換番号のみ伝えれば薬局で調剤されたお薬を早く受け取りやすくなります。しかし、紙の保険証だと医療従事者は患者さんの過去の薬剤情報を閲覧することができませんし、患者様もマイナポータルにログインして、処方内容の確認など出来ません。マイナカードを保険証として使い、電子処方箋を利用することで『お薬の重複投薬』を防ぎ、飲み合わせによってよくない影響がでる『併用禁忌』の防止が可能になり、処方箋を薬局に持って行く必要がなくなります。保険証をマイナカードとして利用される事をお勧めいたします。

電子処方箋説明動画はこちらから



「電子処方箋」の対応病院になりました

ご紹介いたします!



骨折する前の“痩せ”に気付いたら検診へ

整形外科 五十嵐一峰

この度、2年を経て調布病院で診察をさせて頂くこととなりました。久しぶりに診察させて頂く患者さんとお会いして感じることは、痩せられている患者さんが多いことでそれがとても気がかりでした。最近では「フレイル」や「サルコペニア」という医学用語も耳にするようになりましたが、実際の整形外科での診療にあって治療できるのは骨粗鬆症となります。

骨粗鬆症は代表的な加齢性疾患であり、骨強度の低下により骨折のリスクが増大した病態です。厚生労働省「2022（令和4）年 国民生活基礎調査の概況」によると、介護が必要となった原因の第1位が認知症、第2位が脳血管疾患（脳卒中）、第3位が骨折・転倒、第4位が高齢による衰弱、第5位が関節疾患となっており、これまで第3位であった高齢による衰弱を抜いて、骨折・転倒が上位となりました。

この順位の入替わりからみても、脆弱性骨折の原因となる骨粗鬆症が多くの高齢者の日常生活動作（ADL）、生活の質（QOL）を低下させています。しかし、骨粗鬆症は慢性に進行し、自覚症状に乏しいという特徴があり、経過中に医療機関を受診しないことが多く、そのため医療機関において早期の段階で疾患を発見することは困難となっています。早期発見のために地域住民を対象とした検診が実施されていますが、都道府県の検診実施率は平均約60%となっはいるものの、全国の検診受診率の平均は約5%と極めて低くなっています。このため、骨折などの怪我を契機に骨粗鬆症検査が実施されることが多いのが実際です。

皆さん、首や腰、膝が痛い時には病院に受診されると思います。骨粗鬆症の心配だけでなく、高齢に伴う「痩せ」などが気になりまたら受診して頂ければ幸いです。よろしくお願い致します。



骨折する前の
痩せに気付いたら
検診へ

骨粗鬆症検査について

骨粗鬆症とは、骨密度が低下し、骨の強度が弱くなることで骨折などが起こりやすくなる病気で、閉経後の女性に多く見られるのが特徴です。

国内の推計患者数は、1,280万人（内女性は980万人）で、女性は60歳代で5人に1人、70歳代で3人に1人、80歳代で2人に1人の有病率となっています。

代表的な検査方法として、DXA（デキサ）法があります。二重エネルギーX線吸収法ともいい、高低2種類のエネルギーのX線を照射し、透過度が骨と周囲とで異なることを利用して骨量を測定します。検査は、横になって腰椎と大腿骨頸部を測定します。検査時間はおよそ10分です。若年成人（20～44歳）の骨密度の平均値を100%で表し、80%以上を「正常」、70～80%を「骨量減少」、70%未満を「骨粗鬆症」と診断します。

治療は、「食事療法」、「運動療法」をしっかりと行っうえで、骨吸収抑制薬や骨形成促進薬、骨代謝調整薬などを注射や内服薬で併用する「薬物療法」を行います。

日頃から乳製品や大豆製品、魚などのカルシウムやタンパク質を含む食品をバランス良く食べるように心がけ、適度な運動を習慣づけることが予防につながります。



● 骨密度検査に関しては当院健診課までお気軽に ●

TEL **042-484-2626**

（ガイダンスが流れたら“3”を押してください）

骨粗鬆症検査

ご紹介します！



新入職員インタビュー

新入職員

2F看護師 ^{いわさき りく} 岩崎 凌久さん

①ご出身は？

北海道伊達市。北海道の道南の辺りで田舎です。少し牧場があったりするのですが、乳製品やお寿司が美味しいです。

②看護師を目指した理由は？

元々医療の現場に興味があったことと、人と関わる仕事の中で患者さんに寄り添うことができる仕事をしたかったからです。

③最近のマイブームは何ですか？

料理と博物館・美術館巡りです。料理は、最近

オープンを買ったので色々模索中です。博物館・美術館は、最近行った場所だと、国立科学博物館で生き物が好きのため化石や虫などの生態を見たり、多くの種類の生き物がいて面白かったです。

④患者さんへ向けて一言お願いします！

患者さんの背景や疾患を踏まえて寄り添った看護ができるよう頑張っていきます。知識や技術は発展途上ですが、元気を患者さんに配れたらと思っています。よろしくお願いします！



新入職員

社会福祉士 ^{ひのともや} 日野 友哉さん

①ご出身は？

神奈川県秦野市。丹沢がある町です。登山やキャンプで来る人が多いです。

②社会福祉士を目指した理由は？

医療分野に興味があり、人をつなぐことができればと思い志しました。

③最近のマイブームは何ですか？

ドライブです。車で箱根や山中湖など自然が多いところに行くことが気分転換になります。

④患者さんへ向けて一言お願いします！

少しでも本人や家族が良い方向に進めるようにお手伝いが出来ればと思います。



新入職員インタビュー

部署紹介 透析室で聞いた臨床工学科って？

臨床工学科は、医療機器の保守点検・管理、血液浄化業務、内視鏡業務に携わっております。

医療機器というとあまり馴染みがないと思いますが、医療ドラマ等でも映っている、点滴をするための輸液ポンプ、また手術シーンで見かけるシリンジポンプや麻酔器、街中にも設置されているAEDなどのほか、病院内には様々な医療機器が設置されており、それが問題なく使用できるよう点検管理し、必要に応じて修理、メーカー点検の手配などを行います。血液浄化業務においては、医師、看護師と共にチームを組み、より良い透析治療が提供できるよう知識を得、それを共有すること、また内視鏡業務におきましても、検査が潤滑にすすむよう使用機材の準備はもちろん、検査中は不安感を取り除くためのお声掛けをすることを意識して業務にあたっています。

臨床工学科長 島田桐人



部署紹介

ご案内します！

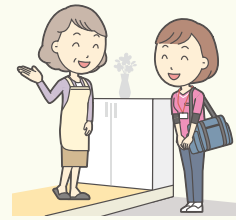


調布訪問看護ステーションからの訪問リハビリテーション

調布訪問看護ステーションにはリハビリ職員、理学療法士が4名在籍しています（理学療法士：立ち上がり・起き上がり・歩行・寝返りなどの基本動作の訓練）。

訪問看護とは

病気や障害があっても、住み慣れた場所で暮らしたいという方に自宅に看護師やリハビリスタッフが訪問し、自立や療養生活を支援するサービスです。また、介護する方、される方の不安・負担を軽減できるような支援も行っています。



通所リハビリテーションと違う点は、実際の環境に添った訓練ができること、ご自宅で利用するので慣れた環境のため負担が少なく安心しやすいことです。何かお困りごとがございましたらご遠慮なくご相談ください。



お問い合わせ **042-443-9765**

理学療法士 小川 一記

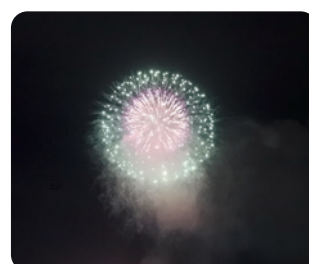
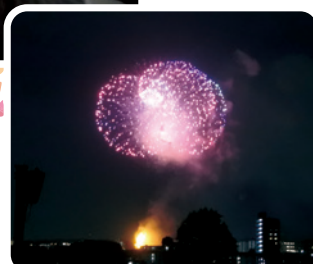
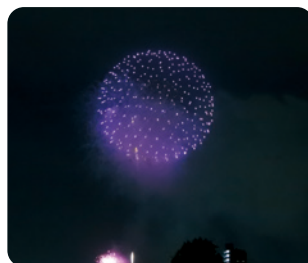
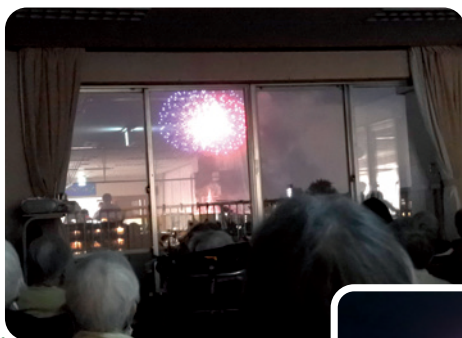
訪問看護からの訪問リハ

2024年 調布市花火大会見物会を行いました

当法人の5階はフロリール調布の通所リハビリ室となっています。通所リハビリというのは自宅から通って、リハビリや日常生活の支援を行う場所です。

この5階は目の前に遮るものが何もないため、調布市の花火大会が一望できる絶好の観覧場所となっています。今年の花火大会は天候にも恵まれ、ご利用者とそのご家族合わせて40名以上をご案内することができました。18時15分の打ち上げに「おっ！始まったよ！」「すごい場所から見させてもらって！本当にすごいわね！」と花火が1つ上がるたびにご利用者のご家族から歓声が聞かれ、笑顔が花咲きました。1時間の打ち上げを最後まで見ていた方からは「はいっ！これにて終了！良い出来栄えでした。」とお褒めの言葉を頂戴いたしました。

ご参加くださいましたご家族の皆様本当にありがとうございました。次年度もご利用者の笑顔のために企画を作っていきたいと思っています。



フロリール調布

